

# アイデアのたね



テーマ・事業名	説明	役割		その他	公表
		市民団体	市		
写真（静止画）、動画のパソコン編集スキルアップ勉強会	<p>デジカメ、ビデオカメラ、メディアとして DVD、ブルーレイなどの普及が進む一方、その編集ができない状況。</p> <p>また、市内において編集作業を行う団体も少ない中で、ボランティアを中心とした勉強会の実施</p> <p>市民が一定レベルの写真、動画編集が可能となることが期待される。</p>	<p>スキル等をもったボランティアを中心に継続的な勉強会を企画・運営する</p>	<p>環境整備（活動場所、設備等（パソコン、編集ソフト等）の整備）</p> <p>活動初期段階は、外部講師派遣</p>		○
四街道スイーツ	<p>四街道市と姉妹都市であるアメリカ合衆国リバモア市のカリフォルニアワインを使用したワインスイーツ（ワイン菓子）の認定</p> <p>四街道スイーツ「リバモア」は、市内ケーキ店、パン屋、和菓子屋と協力して認定するスイーツの総称</p> <p>※ワインのアルコール分を取るレシピが望ましい。</p>	<p>商工会を中心とした実行委員会を設立して、市内事業者の活性化を目指す</p>	<p>リバモア市との国際交流</p> <p>市による認定権</p> <p>ワインの供給確保</p>	<p>ルールや材料の規定が望ましい。</p> <p>独占化や権利は市にあるべき</p>	○

非常時の地域での見守り

(背景)  
東日本大震災時、子どもの安否確認ができず不安であった。また独り暮らしのお年寄りの安否確認もスムーズにできず課題があった。  
非常時の安否確認は小さい子どもをもつ家庭にとっても、高齢者にとっても大きな課題

小学校が中心となって若い家庭と高齢者をマッチングし、いざというときにお互い安否の確認やお互い助け合うように組みを作るもの。  
例えば、地震が起きて親が帰宅できない場合、子どもは普段から組みになっているシニアの家庭に帰る。同じ組みの3、4家庭が助けあってお互いの安否を確認、親が帰ってくるまで子どもを預かり、子どもはできる手伝いをする。  
いざという時に助け合えるように、組みになった家庭同士は普段から交流できる仕組みも一緒に用意する。これにより、多年代が交流する仕組みもできる。

学校と協力して、若い世代の意向調査  
参加希望家庭の把握

地域に住んでいるシニアの情報開示  
マッチングのための地域における説明会  
学校側との交渉

(協力・連携を期待する団体)  
小学校、学校評議員、自治会、PT  
民生児童委員、地区社会福祉協議会

○

